

知っていますか？お薬のこと・治験のこと



「臨床試験(治験)」ってどんなことをするの？④

薬の開発に必要である「臨床試験(治験)」では、本当に「くすり」が効いているのかどうかを慎重に試験を重ねて調べる必要があります。その際に「偽のくすり(プラセボ)」を使用する試験があります。※プラセボとは有効成分を含まない(治療効果のない)偽薬(ぎやく)の事。「臨床試験(治験)」では、「くすりの候補」を使うグループと、「偽のくすり(プラセボ)」を使うグループとに分けて比較試験を行う事があります。得られる効果が、本当に「くすりの候補」によるものか、それとも「くすりが効いている」という思い込みによるものかを明らかにするためです。

「くすり」を飲んだと思ひ込み、心理的作用が働くことで効果がでる場合があります。そのことを「プラセボ効果」と言います。

臨床薬理センターより



臨床試験を行う為には多くの「協力者(ボランティア)」が必要となります。次回・・・「臨床試験(治験)」ってどんなことをするの？⑤

外来診療スケジュール

平成 28 年 1 月時点

診療科	時間帯	専門	月	火	水	木	金	土
整形外科	午前		林	林		入江	小山	輪番
			山口浩司	山口浩司				
	午後	ひざ専門 関節 スポーツ	山口浩司			佐藤	小山	
						林(予約制)	山口浩司 (予約制)	
午前	リハビリ診察				西			
午後				増田				
内科	午前	一般	西村(予約制)	篠原(予約制)	篠原(予約制)	篠原	西村(予約制)	輪番
			吉田	山口勉	山口勉		山口勉	
		糖尿病代謝		篠原(予約制)	篠原(予約制)	篠原	篠原(予約制)	
		神経内科				植田		
		消化器	増田	山口勉	山口勉	増田	山口勉	
	循環器		藤末				藤末(第1・3・5週) 荒木(第2・4週)	
	午後	一般	篠原(予約制)	西村(予約制)	西村(予約制)	篠原(予約制)	吉田	
	糖尿病代謝	篠原(予約制)	吉田		篠原(予約制)			
泌尿器科	午前					米納(予約制)		
	午後			米納・本多 (隔週・予約制)				
皮膚科	午前				山下(予約制)			
	午後			山下(予約制)		山下(予約制)		
麻酔科	午前		柳下	柳下/辻			柳下	
	午後							

※学会などで診療スケジュールが急ぎよ変更になる場合がございます 詳細はお電話などでご確認ください

～人がまんなか～

Vol.81 WINTER

にしくまだより

山口浩司副院長(兼 関節外科センター長)と
骨粗しょう症チームのスタッフたち



CONTENTS

- ◆ 病院長より新春のご挨拶
- ◆ 頑張ってます骨粗しょう症チーム
- ◆ 地域包括ケア 当院の取り組み
- ◆ 男女共同参画推進事業者表彰
- ◆ 治験のこと ◆ 診療スケジュール

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

西熊本病院は昭和63年1月に富合町に開院しました。私は、平成3年1月1日に西熊本病院に就職しましたので、ちょうど25年が過ぎました。平成3年当時は、病院の周囲にはあまり家がなく、田んぼの中にぽつんと87床の老人病院が立っていました。当時は外来患者さんも1日30人から50人程度で職員も50名程でした。地元富合町の皆さん、これまで勤務していただいた職員の皆さん方等、多くの人たちに支えられて、平成4年に「西熊本病院」から「にしくまもと病院」に変わり、ベッド数も少しずつ増えて今では146床になりました。平成24年に新館が完成し、26年には併設の特定施設ホスピタウンハウス（33室）がオープンしました。

私が専門にしております関節鏡の手術は、平成3年1月18日に最初の手術を行い、平成27年9月16日に3000関節の手術を行う事ができました。山口浩司副院長が平成22年に就職してからの人工関節手術も、平成27年12月2日で300関節になりました。平成28年5月21日（土）アスパル富合ホールにて、患者さんや、旧職員の方々にも来ていただいて関節鏡3000、人工関節300の「お礼とお祝いの会」を行いたいと思っております。

今年から熊本市が「医療・福祉によるくまもと創生」に取り組まれるとの事です。富合町でも医療の「にしくまもと病院」と、福祉の「ゆうとびあ」が核となり、南1地域包括支援センター地域運営協議会委員の方々や、富合町の学校や団体の方々等と力を合わせて、子供からお年寄りまで、自立した生活から、介護が必要になっても、最期まで暮らし続ける事のできるまち「生涯活躍のまち」を創りたいと思っています。

今年も職員一同が協力して、チーム医療の質を向上し、一流の病院を目指して努力していきますので、皆様方のご支援をお願い致します。



病院長 林 茂

病院長 林 茂

頑張っています！にしくま 骨粗しょう症チーム

①健康な骨は健康な生活に欠かせません

「骨粗しょう症」という病名は今ではおなじみになっています。高血圧や糖尿病のように私たちの日常生活と密接にかかわりがある病気です。加齢とともに骨折を起こしやすくなった状態ですが、骨折を起こして生活に支障が出るようになる前に、予防をすることがとても大切です。しかし、日本人で1100万人の方が骨粗しょう症と推計されていますが、治療を受けているのはその約20%にすぎません。骨の健康は健康寿命に深い関係があります。

②骨の健康：まずは食事と運動

骨を強くするためには日常生活がとても大切です。若いころから骨の健康を意識して、バランスの良い食事をとること、適度な運動をすることをお勧めしています。骨の健康を保ち、健康寿命を延ばすためには「何歳になっても食事と運動が大切」だということを伝えていかなければなりません。



③ドミノ骨折を防ぐ

骨粗しょう症の患者さんが起こしやすい骨折があります。背骨、脚の付け根、肩、手首が4大名所で、「脊椎圧迫骨折」「大腿骨頸部（けいぶ）骨折」「上腕骨近位端骨折」「橈骨（とうこつ）遠位端骨折」と診断されます。一度骨折を起こすと1年以内に30%の方が再び骨折を起こすと言われています。ドミノ骨折といわれる訳です。寝たきりになることも多く、本人、ご家族に大きな負担となってしまいます。一度骨折を起こした方は早急に骨折を起こしやすい状態を改善する必要があります。早めの骨粗しょう症治療への介入が必要です。

④骨粗しょう症チームの役割

骨粗しょう症の患者さんを地域ぐるみでサポートし、健康に貢献する動きがあります。医師、看護師、薬剤師、理学療法士、検査技師、放射線技師、栄養士、相談員など様々な職種で作るチーム医療が必要とされています。私達「にしくま骨粗しょう症チーム」は適切な診断、生活指導、治療を提供するために多職種で合同チームを立ち上げ、活動を行っています。「骨粗しょう症マネージャー」という日本骨粗しょう症学会の認定資格を取得したスタッフも10名在籍し、プロ意識をもって自らの仕事に携わっています。勉強会、職員への啓発活動、骨粗しょう症チーム医療の実践、医療連携、研究から学会発表まで、その活動を少しずつ広げてきました。さらに最新の知見を導入し、貢献していきたいと考えています。近隣の病院、医院の先生方との連携を深めることもこれから大切な課題と考えています。



副院長・関節外科センター長
山口 浩司

地域包括ケア 当院の取組み ～PART4～

厚生労働省は団塊の世代が後期高齢者（75歳以上）となる2025年（平成37年）を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的の下、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続ける事ができるよう地域の包括的な支援サービス提供体制「地域包括ケアシステム」の構築を推進しています。

当院で行っている健康増進に関する取組や予防活動など、地域包括ケアに関するさまざまな取組をお知らせします。

第19回ホスピタウン祭



↑射的など緑日とバナナのたたき売り⇒

10月10日（土）第19回ホスピタウン祭を開催しました。今回は1階（外来）健康測定エリア、2階（リハビリ室）ステージエリア、屋外（玄関横）の縁日エリアの3つに分け行いました。2階ステージでは地域の幼稚園と富合中学校生徒による演奏やボランティア団体ふれあいトーク富合の皆様によるバナナのたたき売りなど行って頂きました。小さいお子様からご高齢の方まで、昨年約2倍近く入場者があり、大盛況のうちに終了することが出来ました。

健康ヒーローにしくマンも参加⇒



第19回ホスピタウン交流会 in 熊本

「ホスピタウン」とは「ホスピタル」と「タウン」を合わせた造語で、医療・福祉・保健の充実した明るく住みやすい町づくりという意味です。当院のビジョンである熊本ホスピタウン構想の実現を目指して、平成5年より米子真誠会様と姉妹提携させて頂いた後、平成8年より神戸まほし会様などと共に交流会を開催しております。



今年は熊本が担当で、11月20日21日両日当院にて行いました。まず真星病院事務長よりDPCや医療機能評価についての講義を、翌日は各病院からの発表と米子真誠会小田理事長より「地域包括ケアとこれからの医療・福祉 2025年に勝残る為に」というテーマにてお話しを伺いました。いずれも今後直面するであろう厳しい内容の話で、職員一同身の引き締まる思いでした。



在宅医療・地域フォーラム IN 富合

下益城郡医師会が主体となっている在宅医療連携拠点事業の中で当院は北部地区（城南・富合）の拠点病院となって様々な活動を行っています。地域住民への在宅医療に関する普及啓発活動の一環として、平成28年2月20日（土）13時半より熊本市南区役所横アスパル富合にて講演会を開催します。テーマは『今を生きるあなたへ、「人生の最終段階」に受けたい医療とは』です。大西一史熊本市長にご挨拶頂き、当院林病院長も講演を行う予定です。多くの皆様にご出席いただき、自分自身や家族の最期考える機会になればと思います。お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。

チラシ(案)⇒



男女共同参画推進事業者表彰

11月20日熊本県庁にて、平成27年度熊本県男女共同参画推進事業者として表彰されました。当院のワークライフバランス推進活動や院内保育所設置などの取組みが評価されたとの事でした。

表彰式には肥後銀行様やイオン九州様なども受賞者として列席され熊本県蒲島知事より林病院長が木製の表彰状を受け取りました。今後も働きやすい職場づくりを推進しながら、熊本ホスピタウン構想の実現に向け、取組んで参ります。



↑授賞式

木製の賞状⇒

